

# せんだいメディアテーク年報 (2014年度)

## はじめに

2014年度の仙台市をめぐる重要な出来事のひとつに、国連防災世界会議(2015年3月14－18日)の開催が挙げられますが、それは当館にとっても大きなものでした。パブリック・フォーラムにおける主要な展示会場として、「東北復興パビリオン」をはじめ国内外のブース展示等がおこなわれ、5日間で世界から3万6千人あまりの方々を迎えることとなりました。当館の企画としても「レコーディング イン プログレスー3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター活動報告展ー」や、仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)の一員として「東日本大震災とミュージアム」などを企画し、被災や復興の状況を独自の視点から伝えることができました。これまでも内外からの視察等を受け入れてきた当館ですが、館内の案内や職員への対応など、多様な来館者を迎えてのホスピタリティをあらためて問われる機会となりました。

このように年度末を大きなイベントで終えた2014年度でしたが、他方で、震災後の継続した取り組みが静かに実を結びはじめた年でもありました。たとえば、スタジオを拠点として市民グループとの協働で進められてきたプロジェクト「民話 声の図書室」は、その成果であるDVDが春にsmtコレクションのひとつとして映像音響ライブラリーで公開されると、一般視聴のほか市外からも貸出のご希望をいただくようになりました。また、国連防災世界会議に先んじ、秋には「3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター」にアーカイブされた東日本大震災の記録を活用した展覧会「記録と想起・イメージの家を歩く」を企画し、アーカイブ資料と私たちの新たな接し方を展示する試みをおこないました。記録の資料化から、その資料の活用段階へ――まだ緒に就いたばかりではありますが、この一年を振り返れば、アーカイブをめぐる近年の取り組みが一本の線としてつながってきた手ごたえを感じていただけるかと思います。

2001年1月26日の開館から数えて15年目に足を踏み入れた2014年度。このまちの文化を支える場として着実な歩みを進め、多くの方からの期待とそれに応える責任について、職員一同気持ちをあらたにした一年となりました。

## 目次

### 1. 施設の概要

- 1-1. 施設
- 1-2. 沿革
- 1-3. 組織
- 1-4. 経費
- 1-5. 施設使用実績

### 2. 企画事業

- 2-1. 対話の可能性
- 2-2. 地域メディア文化活性
- 2-3. 館長発信事業
- 2-4. 発信・施設活用推進事業(施設活用推進・地域文化連携事業)
- 2-5. その他事業

### 3. 受託事業(緊急雇用創出事業)

- 3-1. 震災復興アーカイブ事業
- 3-2. ミュージウム活性化事業

### 4. 情報サービス事業

- 4-1. 映像音響ライブラリー
- 4-2. 教材ライブラリー
- 4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー(バリアフリー・ライブラリー)
- 4-4. 地域映像ライブラリー
- 4-5. デジタルアーカイブ事業
- 4-6. メディア活用推進事業(活動支援事業)

### 5. 配布・刊行物

- 5-1. 通信
- 5-2. 施設案内等

## 1. 施設の概要

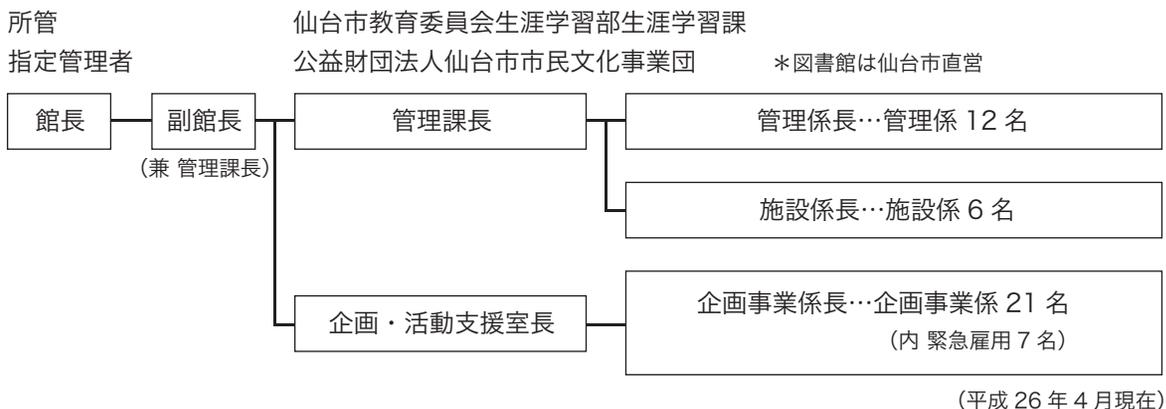
### 1-1. 施設

- 所在地 仙台市青葉区春日町 2 番 1 号  
 開館時間 9:00-22:00(階により異なる)  
 敷地面積 3,949 m<sup>2</sup>  
 構造 鉄筋造一部鉄筋コンクリート造地下 2 階地上 7 階建  
 延床面積 21,682 m<sup>2</sup>  
 主な施設内容  
 地下 2 階 書庫、収蔵庫、機械室  
 地下 1 階 駐車場、書庫  
 1 階 プラザ(定禅寺通に開かれた屋内型公開空地、オープンスクエア、カフェ、ショップ)  
 2 階 ライブラリー(映像音響資料、児童書、新着新聞雑誌等の閲覧)  
 3・4 階 ライブラリー(仙台市民図書館)  
 5 階 ギャラリー 3300(固定壁面を中心とする天井高 3,300 mm の展示空間)  
 6 階 ギャラリー 4200(可動壁面で自由に構成できる天井高 4,200 mm の展示空間)  
 7 階 スタジオ(施設貸出・相談窓口、スタジオシアター、各種スタジオ)

### 1-2. 沿革

- 平成元年(1989年) 宮城県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出。  
 平成 4 年(1992年) 定禅寺通に図書館を併設した市民ギャラリーを建設する方針が定まる。  
 平成 6 年(1994年) 市民ギャラリー、図書館、映像メディアセンター、視聴覚障害者のための情報提供施設の機能を併せ持つ芸術文化施設とすることが決まる。  
 平成 7 年(1995年) 設計競技により、伊東豊雄建築設計事務所が選ばれる。  
 平成 9 年(1997年) 12 月着工。平成 12 年(2000年)8 月竣工。  
 平成 13 年(2001年) 1 月 26 日開館。仙台ひと・まち交流財団が管理(図書館は仙台市直営)。グッドデザイン大賞受賞。  
 平成 16 年(2004年) 仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として指定。  
 平成 19 年(2007年) 業務移管により、仙台市市民文化事業団を指定管理者に指定。  
 平成 20 年(2008年) 館内フロアレイアウトを一部変更。  
 平成 23 年(2011年) 地域創造大賞受賞。東日本大震災により休館。5 月 3 日から一部再開し、翌年 1 月 27 日に全館再開。

### 1-3. 組織



## 1-4. 経費

歳入	計 618,027 千円
指定管理料	561,981 千円
事業収入	56,046 千円
*事業収入のうち、助成金収入は 11,600 千円。	

(助成元)

一般財団法人地域創造  
 独立行政法人芸術文化振興会  
 公益財団法人日本社会福祉弘済会

歳出	計 618,027 千円
施設運営費	561,981 千円
事業費	56,046 千円

## 1-5. 施設使用実績

### (1) 施設使用実績

施設	貸出単位	利用日数	日数ベース利用率	利用者数
5 階ギャラリー	週	49*	100%*	158,826
6 階ギャラリー	週	47*	97.9%*	153,559
オープンスクエア	日	278	85.3%	88,614
スタジオシアター	1 日 3 区分	210	64.4%	22,943
2 階会議室	1 日 3 区分	310	94.2%	5,830
7 階会議室	1 日 3 区分	327	98.8%	12,348
プラザ控室 a	1 日 3 区分	190	54.6%	2,132
プラザ控室 b	1 日 3 区分	232	66.7%	3,270
託児室	1 日 3 区分	17	4.9%	14

\*5 / 6 階ギャラリーは週数ベース

### (2) 視察等の対応

視察：112 件  
 報道(新聞・雑誌)：101 件

### (3) その他

学芸員実習の受け入れ：2 名(宮城教育大学、札幌市立大学)

## 2. 企画事業

メディアを活用した生涯学習活動および文化活動にかかる、展示・上映・ワークショップ等。

### 2-1. 対話の可能性

「考えるテーブル」と名付けた場でさまざまな対話を醸成しながら、アレゴリー(寓意)として多様な表現を投げかけ(コール)、参加者がそれに対するリアクションを表現(レスポンス)、新たな参加にむけた問いの連鎖を生むための事業を実施しました。

#### [対話のための発信事業]

##### (1) 記録と想起・イメージの家を歩く (展覧会)

会期 2014年11月15日-1月12日

会場 ギャラリー 4200

入場・参加者数 5,944 名

入場料等 一般・大学生・専門学校生 100 円

高校生以下無料(豊齢カード、障がい者手帳をお持ちの方は半額)

後援：NHK 仙台放送局 TBC 東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ KHB 東日本放送 河北新報社 朝日新聞仙台総局 読売新聞東北総局 毎日新聞仙台支局 産経新聞東北総局 仙台リビング新聞社 せんだいタウン情報 S-Style エフエム仙台 ラジオ 3

協力：協同組合仙台卸商センター

助成：一般財団法人地域創造 芸術文化振興基金

ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/recalling/>

東日本大震災に関するアーカイブを市民や専門家らとの協働により進める「3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター」に蓄積された記録を活用した展覧会。デジタルデータとして保存されている種々の記録映像がさまざまな表情を引き出すことをねらいとして、台所や寝室など生活空間を模した場をつくり展示しました。



**(2)フィクションの境目 (上映会)**

会期 2014年12月19日-12月21日  
 会場 スタジオシアター  
 入場・参加者数 148名  
 入場料等 500円  
 \*『ASAHIZA 人間は、どこへ行く』は1,000円(トークイベントを含む) \*『夏時間の庭』は無料  
 共催等 助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/border/>

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」(わすれん!)のアーカイブを活用した展覧会「記録と想起」の関連企画として、わすれん!に参加した映画監督の濱口竜介氏が選定した作品を中心に上映しました。また、『ASAHIZA 人間は、どこへ行く』(12月19日)の上映後には、「かたログ vol.23」としてトークをおこないました。



(上映作品)

- 『ASAHIZA 人間は、どこへ行く』(監督：藤井光 / 2013年)
- \*上映後「かたログ vol.23」を実施(出演：濱口竜介、酒井耕、藤井光)
- 『なみのおと』(監督：酒井耕、濱口竜介 / 2011年)
- 『飯館村 わたしの記録』
- (撮影・監督：長谷川健一 / 編集・構成：細谷修平 / 2013年)
- 『村に住む人びと』(監督：岩崎孝正 / 2014年)
- 『夜の女たち』(監督：溝口健二 / 1948年)
- 『ポンヌフの恋人』(監督：レオス・カラックス / 1991年)
- 『なみのこえ 気仙沼』(監督：酒井耕、濱口竜介 / 2013年)
- 『なみのこえ 新地町』(監督：酒井耕、濱口竜介 / 2013年)
- 『夏時間の庭』(監督：オリヴィエ・アサイヤス / 2000年)



**(3)機関誌『ミルフイユ 07』 (出版物)**

当館の機関誌として、さまざまなイメージやメッセージや人々が層をなして重なり合う活動をその名前に託した書籍。第7号は「想起の方則」と題して、記録することと忘却すること、または、記録物とそこから想起することの関係について、私たちの今日的な情報メディア環境のなかを考えました。

(発行：赤々舎 / 価格：1,300円 + 税)



**[対話の場づくり協働事業]**

**(1)考えるテーブル てつがくカフェ**

会期 2014年4月13日 5月4日 6月15日 7月6日 8月2日 9月6日 10月26日  
 11月30日 12月21日 2015年1月18日 2月22日 3月29日 (全12回)  
 会場 スタジオa オープンスクエア ギャラリー4200ホワイト  
 入場・参加者数 のべ660名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：てつがくカフェ@せんだい／助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=4097>

2011年度から続くシリーズ。私たちがふだんあたりまえだと思っていることからいったん身を引き離し、問いを投げかけ、参加者同士で震災にまつわるテーマの対話を続けました。



**(2)考えるテーブル てつがくカフェ(3.11以降)読書会**

会期 2014年4月26日 5月24日 6月22日 7月27日 8月24日 9月28日  
 11月23日 12月28日 2015年1月25日 2月22日 3月22日 (全11回)  
 会場 スタジオa 7f会議室 プロジェクトルーム  
 入場・参加者数 のべ147名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：てつがくカフェ@せんだい  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=8575>

てつがくカフェの一環として、震災に関連する書物を取りあげ、参加者みなで読むシリーズ。『聖地Cs』(木村友祐著)を取りあげました。



**(3)考えるテーブル こけし、かだる？**

会期 2014年4月27日 6月22日 2015年1月11日 (全3回)  
 会場 スタジオ a  
 入場・参加者数 のべ 121 名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：こけしぼっこ 助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=4646>

近年若い世代にも人気の伝統工芸品であるこけしをめぐるシリーズ。「作並編」では作並系工人・平賀輝幸氏、「鳴子編」では鳴子系工人・桜井昭寛氏、「秋保編」では秋保の遠刈田系こけし工人・佐藤武志氏を迎え、参加者同士で語り合いました。



**(4)考えるテーブル どこコレ？——教えてください昭和のセンダイ**

会期 2014年4月29日  
 会場 オープンスクエア  
 入場・参加者数 43 名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台／助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=8586>

【昨年度】NPO 法人 20 世紀アーカイブと当館が協働して、場所がわからない古い写真や映像を展示しながら来場者とともに明らかにしていくプロジェクト。同名でのラウンジ展示期間中に集まった情報をもとに話し合いました。



**(5)考えるテーブル 民話ゆうわ座一話に遊び 輪を結び 座に集うー**

会期 2014年5月3日  
 会場 オープンスクエア  
 入場・参加者数 177名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=4644>

古くから親しまれてきた日本の民話「サルカニ合戦」をとりあげ、民話の深みについて参加者同士で語り合いました。



**(6)考えるテーブル くろい音楽室**

会期 2014年6月29日 9月10日  
 会場 スタジオa  
 入場・参加者数 のべ73名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：みやぎアナログ文化協会 協力：東北大学学友会オーディオ研究部  
 東北学院大学ブラックカルチャー研究会 SOUL ON TOP 赤べこレコーズ  
 助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=5092>

クラブミュージックから昭和歌謡まで。さまざまなジャンルの中でも特に「くろい」と評されるような音楽を、愛好家やDJも交えながら、参加者とともに意見交換しました。



**(7)考えるテーブル ヤングファーマー農宴**

会期 2014年8月9日 2015年1月31日  
 会場 スタジオa  
 入場・参加者数 のべ81名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：宮城県農村青少年クラブ連絡協議会(宮城県 4H クラブ)  
 助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=5090>

宮城県内の若手農家がホストとなり、食卓に並ぶ農作物や農業という営みについてゆるやかに考えるシリーズ。現場のリアルな声を届けつつ、未来の食卓をめぐる参加者と語り合いました。



**(8)考えるテーブル U-18 てつがくカフェ**

会期 2014年9月7日  
 会場 スタジオa  
 入場・参加者数 11名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：てつがくカフェ@せんだい 助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=10738>

中学生・高校生を対象として、「いま、私たちが問いたいこと」をテーマに語り合いました。



**(9)考えるテーブル 3.11 キヲクのキロク公開サロン**

会期 2014年11月15日  
 会場 スタジオa  
 入場・参加者数 27名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台  
 助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://table.smt.jp/?p=11103>

震災のときにはじめて口にしたもの、炊き出し、買い物、食卓の風景など、市民が撮影した震災当時の「ごはん」にまつわる写真を見ながら、その写真から思い出したことを語り合い、当時の様子や暮らしをどのように次の世代に残していくかを一緒に考えました。



**(10)2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた  
 《いいつたえ、むかしばなし、はなし》その2 (オープンスクエア展示)**

会期 2014年8月2日—9月28日  
 会場 オープンスクエア  
 入場・参加者数 3,688名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/minwa/>

「民話 声の図書室」プロジェクトの一環として、津波で大きな被害を受けた宮城県雄勝地区（石巻市）、戸倉地区（南三陸町）で語られた民話をパネルで紹介しました。



**(11)2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた  
《いいたえ、むかしばなし、はなし》その3 (ラウンジ展示)**

会期 2015年1月10日-2月8日  
 会場 7階ラウンジ  
 入場・参加者数 2,106名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/minwa/>

民話 声の図書室プロジェクトの一環として、津波で大きな被害を受けた宮城県気仙沼市本吉町小泉地区で語られた民話をパネルで紹介しました。



**(12)どこコレ?—教えてください昭和のセンダイ(ラウンジ展示)**

会期 2014年4月29日-5月25日  
 会場 オープンスクエア 7階ラウンジ  
 入場・参加者数 2,630名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：NPO法人 20世紀アーカイブ仙台  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/doko/>

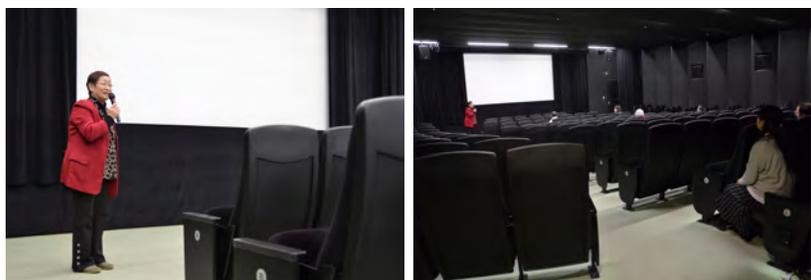
仙台的どこかではあるけれども詳細がわからない古い写真や映像を展示し、来場者からの情報をもとに調べていきました。



**(13)地域映像上映会**

会期 2015年2月20日-2月22日  
 会場 スタジオシアター  
 入場・参加者数 268名  
 入場料等 無料  
 共催等 協働：ことり TV 参加者 みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム  
 3がつ11にちをわすれないためにセンター参加者  
 助成：一般財団法人地域創造  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/chiikieizo/>

スタジオでの協働により生まれた映像と、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」で制作された記録映像の上映「星空と路」を上映しました。全26プログラム。



**(14)としょかん・メディアテーク フェスティバル**

会期	2015年2月21日—2月22日
会場	オープンスクエアほか
入場・参加者数	1,988名
入場料等	無料
共催等	共催：仙台市民図書館 助成：一般財団法人地域創造
ウェブサイト	<a href="http://www.smt.jp/toplus/">http://www.smt.jp/toplus/</a>

本にまつわるトークや普段当館を拠点として活動する団体の紹介などをおこないました。

(プログラム)

- ・ビブリオバトル(人を通して本を知る・本を通して人を知る)
- ・公共図書館の祖 青柳文庫と青柳文蔵
- ・考えるテーブル てつがくカフェ「対話ってなんだろう？」
- ・おはなし会
- ・てつがくカフェ<3.11以降>読書会—震災を読み解くために—展示
- ・2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞き書きした《いつたえ、むかしばなし、はなし》その3
- ・ことりTV /ことりの杜スタジオ in せんだい
- ・バリアフリーサービス紹介
- ・図書テーマ展示「スマイル—わたしが元気になるもの—」



**2-2. 地域メディア文化活性**

活動の成果物を収集・提供・発信することに重点をおき、アーカイブの利活用機会の開発や情報発信、さらなる市民による表現活動の活性化を目指した事業をおこないました。

**[地域文化デジタイズ]**

**(1)ことりTV**

会期	通年(主に毎月第1火曜日、第3木曜日に活動)
会場	スタジオb
入場・参加者数	個人36名 団体3団体 (ディレクターとして)
入場料等	—
共催等	協働：ことりTV市民ディレクター 仙台CATV
ウェブサイト	<a href="http://www.smt.jp/projects/kotori/">http://www.smt.jp/projects/kotori/</a>

市民ディレクターと仙台 CATV、当館との協働による番組「ことりTV」「ことりの杜スタジオ in せんだい」を制作・放送・配信しました。制作番組数 22 本。



**(2)「民話 声の図書室」プロジェクト (再掲)**

共催等 協働：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/minwa/>

**(3)どこコレ?——教えてください昭和のセンダイ (再掲)**

共催等 協働：NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/doko/>

**[バリアフリーデザイン事業]**

**(1)バリアフリー上映『木曜組曲』**

会期 2014 年 5 月 25 日  
 会場 スタジオシアター  
 入場・参加者数 132名  
 入場料等 無料  
 共催等 —  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/>



目や耳が不自由な方も一緒に映画を楽しめるよう、音声解説や日本語字幕をつけた日本映画を上映しました。音声解説と日本語字幕はボランティアが制作しています。上映作品：『木曜組曲』(監督：篠原哲雄／2002 年)

**(2)バリアフリー上映『神宮希林 わたしの神様』**

会期 2014 年 11 月 3 日(仙台短篇映画祭のプログラムとして)  
 会場 スタジオシアター  
 入場・参加者数 123名  
 入場料等 (仙台短篇映画祭に準じる)  
 共催等 共催：仙台短篇映画祭実行委員会  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/>

「ショートピース！仙台短篇映画祭 2014」の一環として、目や耳が不自由な方も一緒に映画を楽しめるよう、音声解説や日本語字幕をつけた日本映画を上映しました。音声解説と日本語字幕はボランティアが制作しています。上映作品：『神宮希林 わたしの神様』(監督：伏原健之／2013 年)

**(3)バリアフリー上映『(ハル)』**

会期 2014年12月7日  
 会場 スタジオシアター  
 入場・参加者数 38名  
 入場料等 500円  
 共催等 —  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/>



目や耳が不自由な方も一緒に映画を楽しめるよう、音声解説や日本語字幕をつけた日本映画を上映しました。音声解説と日本語字幕はボランティアが制作しています。上映作品：『(ハル)』(監督：森田芳光／1996 年)

**(4)手ではなすおはなしの会**

会期 2014年8月31日  
 会場 2f 会議室  
 入場・参加者数 128名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：仙台市民図書館  
 ウェブサイト <http://lib-www.smt.city.sendai.jp/kids/events.html>

ろう者のボランティアグループ「まほうの手」が、耳の聞こえない子とその保護者を対象に、手話による絵本や児童書の読み聞かせをおこないました。



**[震災の記録・市民協働アーカイブ事業]**

**3がつ11にちをわすれないためにセンター**（「受託事業」の頁を参照）

**2-3. 館長発信事業**

当館館長で哲学者の鷲田清一がコーディネーターを務める事業をおこないました。

**(1) 鷲田清一とともに考える**

会期 2014年5月4日 8月3日 12月23日（全3回）  
 会場 オープンスクエア  
 入場・参加者数 のべ703名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：仙台市民図書館  
 ウェブサイト <http://lib-www.smt.city.sendai.jp/kids/events.html>

せんだいメディアテーク館長の鷲田清一が、各分野のプロフェッショナルから話を聞きながら、いま、メディアテークを通して見える社会の課題について語り合いました。



(プログラム)

- 「物語る／できごとを伝えていく」 ゲスト：野家啓一（東北大学教養教育院総長特命教授／哲学者）
- 「取材／見て、聞いて、調べて、」 最相葉月（ノンフィクションライター）
- 「纏い、待つ／みなれたものをはじめてみるかのように」  
 matohu（堀畑裕之氏・関口真希子／ファッションデザイナー）

**2-4. 発信・施設活用推進事業（施設活用推進・地域文化連携事業）**

各種団体との協働や連携により、当館の活用を進める事業をおこないました。

**(1) Book!Book!Sendai 2014**

会期 2014年6月15日  
 会場 オープンスクエア  
 入場・参加者数 958名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：Book! Book! Sendai  
 協力：仙台市民図書館（有）おむらいすふあくとりー  
 ウェブサイト <http://bookbooksendai.com>

毎年6月の「Book! Book! Sendai」が、くつろいで本を楽しむ空間をしつらえ、料理家・文筆家の高山なおみ氏を迎えたトーク、演劇集団ペピン結構設計による朗読劇、本の魅力を紹介する司書のブックトーク、詩人の武田こうじ氏によるポエトリーリーディングなど、さまざまな企画を開催しました。



**(2) ショートピース! 仙台短篇映画祭 2014**

会期 2014年11月1日-11月3日  
 会場 スタジオシアター オープンスクエア 他  
 入場・参加者数 2,295名  
 入場料等 一般1,000円 小学生以下800円  
 共催等 共催：仙台短篇映画祭実行委員会  
 ウェブサイト <http://www.shortpiece.com>

短篇映画を中心に、たくさんの人たちと映画を共有できるありかたを追求した映画祭。「新しい才能に出会う」と題して全国から公募した作品やバリアフリー上映のほか、ゲストを招いてのトークなどをおこないました。



**(3) せんだいデザインリーグ 2015 卒業設計日本一決定戦**

会期 2015年3月1日-6日 3月14日-3月18日  
 会場 ギャラリー4200 ギャラリー3300 ほか  
 入場・参加者数 3,213名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：仙台建築都市学生会議  
 ウェブサイト <http://gakuseikaigi.com/>

建築を学ぶ学生の卒業設計を全国から公募し、一堂に展示。建築家をはじめとする審査員による公開審査のもと卒業設計日本一を決めました。また、3月14-18日には、その記録写真を2階で展示しました。



**(4)定禅寺通りイベント共催事業等**

定禅寺通りを中心に実施されているイベントに協力しました。

**a) とっておきの音楽祭実行委員会SENDAIとの連携**

今回で14回目をむかえる「とっておきの音楽祭」と連携して、オープンスクエアを会場とした催しをおこないました。

- ・スペシャルライブ(2014年4月27日/オープンスクエア/432名)
- ・本祭開催時の共催(2014年5月31日—6月1日/オープンスクエア/1,613名)



**b) 仙台・青葉まつり協賛会との連携**

今年で29回目をむかえる「仙台・青葉まつり」と連携して、オープンスクエアを会場とした催しをおこないました。

(2014年5月17日—5月18日/オープンスクエア/2,508名)



**c) 定禅寺ストリートジャズフェスティバル実行委員会との連携**

今回で24回目をむかえる「定禅寺ストリートジャズフェスティバル in 仙台」と連携して、オープンスクエア等を会場とした催しをおこないました。

- ・交流ライブ(2014年7月20日—21日/オープンスクエア/1,070名)
- ・本祭開催時の共催(2014年9月12日—14日/オープンスクエア/4,621名)
- ・写真展(2014年12月12日—12月25日/7fラウンジ/210名)



**2-5. その他事業**

指定管理業務に加え、各種機関との共催や、仙台市市民文化事業団の自主財源による事業をおこないました。

**(1)シネバトル**

会期	2014年6月27日 9月26日 11月15日 12月21日 (全4回)
会場	映像音響ライブラリー オープンスクエア
入場・参加者数	のべ282名
入場料等	無料
共催等	—
ウェブサイト	<a href="http://www.smt.jp/projects/cinebattle/">http://www.smt.jp/projects/cinebattle/</a>

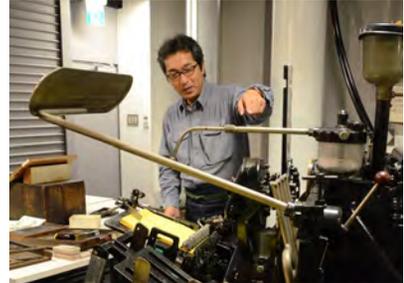
登壇者それぞれが紹介する好きな映画のなかから、参加者の投票により一番見たい映画を決めました。また、過去に金賞・銀賞を受賞した方のなかから選ばれた登壇者がプレゼンテーションし、グラウンドチャンピオンを決めました。



**(2)カッパンリトルミュージアム vol.3(活版印刷ワークショップ事業)**

会期 2014年11月22日—2015年1月11日  
 会場 7f ラウンジ  
 入場・参加者数 2,720名  
 入場料等 無料  
 共催等 —  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/kappanlm/>

当館所蔵の活版印刷機による印刷の方法を記したパネル、道具類や実際に作成されたレシピ本を展示しました。



**(3)スクエア図書館**

会期 2014年8月26日・8月27日 9月26日—9月28日 (全2回)  
 会場 オープンスクエア  
 入場・参加者数 のべ1,411名  
 入場料等 無料  
 共催等 共催：仙台市民図書館  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/toplus/?cat=12>

オープンスクエアの遊休日を活用し、図書館の本とともにくつろげる空間を設けました。



**(4)とつとつダンス part2 愛のレッスン**

会期 2015年1月24日—25日  
 会場 オープンスクエア  
 入場・参加者数 145名  
 入場料等 一般当日3,500円 18歳以下および70歳以上当日2,500円 5歳以下無料  
 共催等 共催：一般社団法人torindo グレイスヴィルまいづる  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/renraku/?p=719>

砂連尾理氏(ダンサー・振付家)と西川勝氏(看護師・臨床哲学者)が進行役となり、特別養護老人ホーム「グレイスヴィルまいづる」で4年にわたって行われてきたワークショップの成果をもとにした作品を発表。トークに当館館長の鷲田清一が出演しました。



### 3. 受託事業(緊急雇用創出事業 仙台市より受託)

仙台市より受託した事業をおこないました。

#### 3-1.3 がつ11 にちをわすれないためにセンター(震災復興アーカイブ事業)

2011年度から継続して、市民、専門家らとの協働により、東日本大震災に関する映像、写真、音声を記録・発信しました。

ウェブサイト <http://recorder311.smt.jp/>

#### (1) わすれん TV311 リアルふっこうボイス

会期 2014年6月14日 8月12日 10月18日 12月21日  
2015年2月7日 3月20日 (全6回)

会場 プロジェクトルーム

入場・参加者数 のべ133名(視聴)

入場料等 無料

共催等 共催：まちづくり部

ウェブサイト <http://recorder311.smt.jp/series/realvoice/>

東日本大震災からの復興・まちづくりに携わるさまざまな方の想いを生の声で記録・配信するシリーズ。今年度は第29回から第34回までおこないました。



#### (2) 定めた点から観て測る(ラウンジ展示)

会期 2014年2月28日-4月13日

会場 7階ラウンジ

入場・参加者数 のべ4,260名

入場料等 一般当日3,500円 18歳以下および70歳以上当日2,500円 5歳以下無料

共催等 協力：NPO法人20世紀アーカイブ仙台 まちかど公共研究所

NPO法人都市デザインワークス 一般社団法人 ReRoots NPO法人創る村

ウェブサイト <http://recorder311.smt.jp/series/sadameta/>

3.11定点観測写真アーカイブ・プロジェクトの一環として、震災前と震災後の2つの視点を軸に、個人やグループで記録された写真を展示しました。



**(3)こえシネマ—映像で話す場所—**

会期 2014年9月28日 11月30日 2015年2月21日 (全3回)  
 会場 プロジェクトルーム  
 入場・参加者数 のべ60名  
 入場料等 無料  
 共催等 企画：こえシネマ  
 ウェブサイト <http://recorder311.smt.jp/information/37195/>  
<http://recorder311.smt.jp/information/39097/>  
<http://recorder311.smt.jp/information/40701/>

震災の記録や映画を上映し、被災地と呼ばれる場所で映像を見ること・撮ることについて語り合うシリーズ。第10回から12回までをおこないません。



(上映作品)

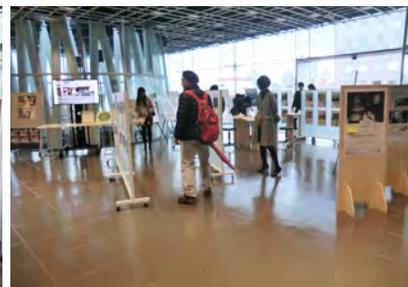
『迷走する熊の子のその後』 (中谷可奈/2013-14年)  
 『沿岸部の風景 (2013年度版)』 (鈴木啓太/2011-13年)  
 『村に住む人々』 (岩崎孝正/2011-14年)  
 『息の跡』 (小森はるか/2013-14年)

**(4)かたログ** (企画事業「フィクションの境目」の頁を参照)

**(5)3月12日はじまりのごはん(ラウンジ展示)**

会期 2014年10月1日-11月16日  
 会場 7階ラウンジ  
 入場・参加者数 無料  
 入場料等 一般当日3,500円 18歳以下および70歳以上当日2,500円 5歳以下無料  
 共催等 共催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台  
 ウェブサイト <http://recorder311.smt.jp/information/38303/>

震災のときにはじめて口にしたもの、炊き出し、買い物、食卓の風景など、震災時の「ごはん」にまつわる写真を展示しました。市民が撮影した、生活感ある写真を見ながら、来場者が過ごした当時の生活ぶりや思い出したことを、ふせん紙に書いた展示をおこないました。



**(6)ケータイで撮った「3.11」はありますか？**

会期	(2014年秋期) 2014年11月15日・16日	(2015年春期) 2015年3月11日
会場	—	
入場・参加者数	受け入れ9件	
入場料等	—	
共催等	共催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台	
ウェブサイト	<a href="http://recorder311.smt.jp/information/37295/">http://recorder311.smt.jp/information/37295/</a> <a href="http://recorder311.smt.jp/information/41396/">http://recorder311.smt.jp/information/41396/</a>	

東日本大震災発生後、自分たちの生活や身の回りについて携帯電話で撮影した写真を収集しました。



**(7)レコーディング イン プロGRESS—3がつ11にちをわすれないためにセンター活動報告展—**

会期	2015年2月20日－3月18日	
会場	7階ラウンジ スタジオa/b	
入場・参加者数	5,921名	
入場料等	無料	
共催等	共催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台	
ウェブサイト	<a href="http://recorder311.smt.jp/information/40983/">http://recorder311.smt.jp/information/40983/</a>	

わすれん！に寄せられた記録群から垣間見られる震災の様相の断片をご紹介するとともに、定点観測写真や震災時の「はじまりのごはん」の写真、沿岸部の風景や震災前後の暮らしについて語る映像などを展示しました。



### 3-2. SMMA 仙台・宮城ミュージアムアライアンス(ミュージアム活性化事業)

仙台を中心とした博物館施設の共同事業体（2015年度現在12施設）の事務局を担ったほか、オープンスクエアにて「ミュージアム・ユニバース」（2014年12月19-20日/参加：のべ1,849名）を実施しました。また、今年度は、SMMAから派生した仙台・宮城ミュージアムアライアンス地域創造活動事業実行委員会の一員として、「平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」を実施し、国連防災世界会議にあわせ、ミュージアムや東日本大震災にまつわる諸活動に関する英語での紹介をおこないました。

ウェブサイト <http://smma.jp>

#### (1)ミュージアム・ユニバース

会期 2014年12月19日—12月20日  
 会場 オープンスクエア  
 入場・参加者数 のべ1,849名  
 入場料等 無料  
 共催等 主催：仙台・宮城ミュージアムアライアンス  
 ウェブサイト <http://www.smma.jp/>

仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA) 参加館がせんだいメディアテークに集合し、専門家によるトークやクイズなどの「トークとイベントの広場」、ものづくりや遊びを通して各館の特色を味わうことができる「体験広場」などをおこないました。

#### (2)東日本大震災とミュージアム(展示)

会期 2015年3月14日—3月18日  
 会場 2階南側エリア  
 入場・参加者数 4,038名  
 入場料等 —  
 共催等 主催：仙台・宮城ミュージアムアライアンス地域創造活動事業実行委員会  
 ウェブサイト [http://www.smt.jp/wcdrr2015/#sub\\_03](http://www.smt.jp/wcdrr2015/#sub_03)

地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業（国連防災世界会議を契機とした国際化対応・発信事業）として、東日本大震災におけるミュージアムの被災と、その復旧・復興過程における地域社会との関係について展示・紹介しました。



#### (3)ニュー・フィールド・レコーディング/ウェブサイト「レコーダ」

会期 —  
 会場 —  
 入場・参加者数 —  
 入場料等 —  
 共催等 主催：仙台・宮城ミュージアムアライアンス地域創造活動事業実行委員会  
 ウェブサイト <http://www.smt.jp/projects/nfr/> <http://recorda.jp/>

地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業（ミュージアムと地域人材が連携する[育成・交流・ネットワーク形成型]情報基盤づくり事業）として、地域人材の交流・育成の場「レコーダ会議」の実施、地域文化情報誌「Diary」の発行（全4号）、ウェブサイト「レコーダ」（<http://recorda.jp>）の構築など、今日的な地域の文化の記録や保存・活用のための人材育成およびプラットフォームづくりをおこないました。



#### 4. 情報サービス事業

各種ライブラリーでの資料提供や情報メディア活用の支援。

##### 4-1. 映像音響ライブラリー

資料点数 11,917 点  
貸出点数 73,912 点  
新規登録者数 547 名

##### 4-2. 教材ライブラリー

資料点数 4,368 点  
資料貸出点数 201 点  
機材貸出点数 242 点

##### 4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー(バリアフリー・ライブラリー)

資料点数 5,868 点  
貸出件数 3,142 点  
対面朗読件数 252 件  
音訳・点訳件数 52 件  
音声読み上げパソコン利用件数 4 件  
音訳所蔵資料制作件数 20 件  
点訳所蔵資料制作件数 59 件 (利用者依頼 21 件、視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」登録：41 件)

##### 4-4. 地域映像ライブラリー

資料点数 16 点

##### 4-5. デジタルアーカイブ事業

###### (1) アーカイブ作成活動事業 (smt コレクション)

主催事業の記録映像資料 (2003 年度)、スタジオを拠点とした市民グループ等との協働による映像資料、「3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター」の活動を通じてつくられた震災記録映像資料を DVD 化し、映像音響ライブラリーおよび教材ライブラリーで公開しました。また、ライブラリー登録者以外も対応しました。

(内訳) せんだいメディアテーク事業記録	45 点
協働による制作物	6 点
3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター資料	25 点

###### (2) そのほかアーカイブ事業 (過去年度に構築したウェブサイトの運用)

「まちかどタイムトラベル」 (<http://www.smt.jp/machikado/>)、「せんだい時遊マップ」 (<http://map.smt.jp>) を、ミュージアムと地域人材が連携する [育成・交流・ネットワーク形成型] 情報基盤づくり事業 (ニュー・フィールド・レコーディング) の成果「レコーダ」 (<http://recorda.jp>) に統合しました。

#### 4-6. メディア活用推進事業(活動支援事業)

##### (1) 学校連携

地域の小中学校、仙台市教育研究会図工部と連携し、子どもたちが段階的に映像表現を学ぶプログラムを実施しました。

「コマ撮りアニメーション制作」は、仙台市立小中学校の希望校を対象に実施。作品は仙台市小中学校図画工作美術合同展で発表しました。実施校数：15校(小学校14校、中学校1校)、参加児童数：1129人(小学校1～6学年、特別支援学級、中学校1～2学年)

「木町のたから」は、木町通小学校の6年生を対象に実施。児童それぞれが思う地域のたからを映像で記録する取り組みで、完成した作品はDVD化し、教材ライブラリーで公開しました。

「木町の3.11」は、木町通小学校の5・6年生が地域の人々へ震災体験についてインタビューし記録として残す取り組みで、完成した映像は、教材ライブラリーでの貸出や「3がつ11にちをわすれないためにセンター」ウェブサイト等で公開しました。



##### (2) 音声解説制作講座

会期	事前説明会：2014年5月14日 5月16日 5月19日 講座：2014年6月6日～7月25日の毎週金曜日(全8回)
会場	スタジオb
入場・参加者数	81名
入場料等	無料
共催等	—
ウェブサイト	<a href="http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/?p=96">http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/?p=96</a>

音声解説の制作講座に参加するための事前説明会を実施しました。



##### (3) 音訳ボランティアステップアップ研修会

会期	2014年7月17日～18日 9月18日
会場	スタジオb
入場・参加者数	34名
入場料等	—
共催等	助成：公益財団法人日本社会福祉弘済会
ウェブサイト	—



##### (4) 音声パソコンステップアップ講座

会期	2014年8月9日～10日 2015年2月14日～15日
会場	2f会議室
入場・参加者数	14名
入場料等	無料
共催等	共催：仙台市視覚障害者福祉協会
ウェブサイト	<a href="http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/?p=134">http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/?p=134</a>

目の不自由な対象の音声パソコン講座を開催しました。



### (5) 音声パソコン入門講座

会期	2014年11月15日—16日 22日—23日
会場	7f会議室b
入場・参加者数	16名
入場料等	無料
共催等	共催：仙台市視覚障害者福祉協会
ウェブサイト	<a href="http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/?p=122">http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/?p=122</a>

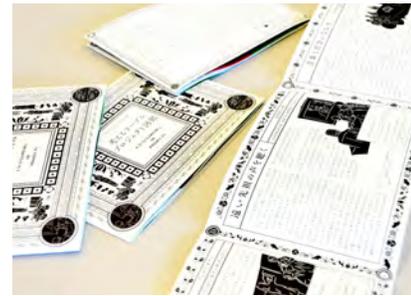
目の不自由な方対象の音声パソコン講座を実施しました。

### (6) スタジオを拠点とするプロジェクト

スタジオを拠点として、「表現・発信を通じて地域の文化を蓄積すること」「さまざまな人が表現や発信にふれられるようにすること」「新しい表現や交流を生み出すこと」を目的とし、メディアテークと協働でさまざまなプロジェクトに取り組みました。

さらに、公募によりプロジェクトとそのパートナー(協働者)を募りました(今年度実施プロジェクトは2015年1月31日—3月10日に募集し、応募8件、採択7件)。

音声解説の制作講座に参加するための事前説明会を実施しました。



(実施したプロジェクトと協働者)

- ・ヤングファーマー農宴 —おらとあんだとくいもんと— 宮城県4Hクラブ
- ・くろい音楽室 みやぎアナログ文化協会
- ・どこコレ? —おしえてください昭和のセンダイ— NPO法人20世紀アーカイブ仙台
- ・「民話 声の図書室」プロジェクト みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム
- ・てつがくカフェ てつがくカフェ@せんだい
- ・こけし、かだる? こけしぼっこ
- ・バリアフリー上映 日本語字幕制作ボランティア、音声解説制作ボランティア
- ・手ではなすおはなしの会 まほうの手
- ・こえシネマ 映像サーベイヤーズ
- ・録音図書制作 グループひかり、仙台朗読奉仕の会、デージーけやき
- ・点訳データ制作 点訳ボランティア
- ・3.11定点観測写真アーカイブ・プロジェクト NPO法人20世紀アーカイブ仙台
- ・おほはしアラウンド 地域探検隊-TTT-
- ・ことりTV ことりTV市民ディレクター、仙台CATV
- ・音声パソコンサポート 音声パソコン操作補助ボランティア
- ・リアルふっこうボイス まちづくり部
- ・舞踏ノ筆筒 舞踏ノ筆筒
- ・プロジェクション仙台 プロジェクション仙台

## 5. 配布・刊行物等

(事業に関するものは、各事業の頁に記載)

### 5-1. 通信

館内の催し (毎月発行)

けやき通り通信 (隔月発行)

教材ライブラリーだより (隔月発行)

メールニュース (毎月配信/登録2,234件)

ウェブサイト (随時更新/アクセス総数588,784件)

### 5-2. 施設案内等

総合案内 (日本語版/英語版/フランス語版/中国語版/韓国語版)

総合案内 (目や耳の不自由なかたへ)

総合案内 (車椅子アクセス)

貸出施設利用案内

